

8人が一般質問

一般質問とは、村の事務全般にわたる執行状況や将来に対する方針等について、村執行部の考えをただすものです。質問・答弁の内容は要約してあります。

山口 宗一 議員

村の教育環境は充実しているか



村内教育施設の耐震化は順調に進んでいるか

質問 村管轄及び指導の対象となる教育施設の耐震化

進捗状況は、
教育委員会事務局長 耐震診断の対象となる施設は、北幼稚園、南小学校の校舎と講堂、北小学校の校舎と体育館、中学校の普通教室棟です。ただ、中学校は平

成22年度から23年度の建設を計画しており耐震診断は行なわない。本村では、学校教育施設は耐震診断及び耐震補強工事を22年度までには完了したいということに進んでいる。

質問 村の対応はどれくらい進んでいるか。
教育委員会事務局長 計画の中に沿って事業を進めているということからも、特別おくれたという認識はない。

質問 構造設計事務所とその技術者が不足している話が出ていますが、そのような中で22年度（臨時交付金）

対象期間内）に本当に終わるのか。

教育委員会事務局長 全国の市町村が耐震化に取り組んでいることから、若干おくれる場合もある。

小学校での英語授業にどう取り組みか

質問 外国語教育の取り組みは。

教育長 平成20年度末の学習指導要領の改訂により平成23年度から5・6年生に年間35時間の外国語授業を

するという通達が出されている。その中で榛東村としては、21年度20時間、22年度25時間ということを設定し今、21年度はやって

質問 8割以上の担任が単独で指導することに不安を感じている英語指導助手とのチームで授業をしたいという考えのようです。榛東村ではいかがですか。
教育長 英語の補助教員を上手に使う小学校の英語の活用をしていきたい、そう思っております。

全国学力テストの結果は

質問 小学6年生と中学3年生を対象にこの4月に行った全国学力、学習状況の結果はどうだったか。

教育長 数値の発表はできないが、中学生は関東1都6県の平均よりもちよつと上で、小学生は知識を活用するという問題がちよつと苦手で、県と同じである。



耐震診断 鉄骨



耐震診断コンクリート



小学校外国語教育



温泉はいつまで待たせる

質問 温泉の維持管理について、今後の温泉運営、管理は過去の問題点からどのような管理体制を取っていくのか。

基地・財政課長 1000メートル掘り終り動力（ポンプ）の設置許可が下り、ガスの対策許可が出ますと12月下旬には温泉が再開できると考えている。（群馬県温泉審議会の許可行為によるもの）今後の管理体制については職員と連携し目視点検、2年に一度ポンプを引き上げ劣化による能力の低下を実測、補正、補修

の点検、安全衛生、定期的な洗浄を行ない専門の業者に見てもらい項目を精査し体制を検討していきたい。

質問 耳飾り館の管理について、立木、庭園の維持管理の問題点はどこにあるのか。

教育委員会事務局長 茅野遺跡から発掘した耳飾りを保管する国の重要文化財、榛東村の誇れる施設である。建設後20年、本年は外壁の塗装工事、看板の更新等工事を進めている。立木については今年度13万円予算確保してありこの中で実施していく考えでいる。庭については今後もできる限り予算等確保しやっていきたい。

質問 大澤知事との意見交換の内容について

村に対して希望と勇気をもたらす要望の内容は期待感があり今後どのように繁栄させるのか。

村長 7月9日渋川北群馬地域市町村懇談会を実施した。

●上毛大橋からの延伸道路の促進、知事の方も相当な関心を持っている。

●吉岡の駒寄インターから前後850メートルを事業着手している。

●信号機の設置南小から16区に向かって広金線へ出て北側、通学路へ10月初旬までに、取りつける。新型インフルエンザの問題は県と医師会との連携を保てるよう要望した。

●学童保育の問題で人数、施設について補助金とかの内容についての検討をお願いをしている。これからも国、県に対してお願いし、村でもやることを担当課長からも出してもらう。



源泉



取付完了の信号機



庭園の美化



榛東村新庁舎に伴う村民への接遇について



質問 50年の節目、この議場での最後の一般質問となる。50年前の新村時の議員は、合併で箕郷に行った方が良かったと言われぬようより良いむらづくりに努めた。新庁舎は、村民にとって、行政サービスが向上されるものでなければならぬ。まず、案内係席の設置について。

総務課長 新庁舎の間取りは、9月の広報で。案内係は村民が戸惑わないようにしばらくの間置かなければならないと検討中。

質問 新庁舎に村民が来た時、「いらつしやいませ、おはようございます。どちらの課でございますか」という一言を言ってもらいたい。これには村長の指導力が必要だ。誰に対しても、「ご苦勞様です。」という声かけをしなければならぬ。新庁舎になり向上するサービスを説明してもらいたい。

総務課長 現庁舎は手狭だが、新庁舎は村民が利用しやすい課の配置となっている。受付スペースが広く機能的で、相談コーナーもある。教育委員会も2階に併

質問 試行開始8日間でまだPR不足では。この巡回バスの試行も、村民の貴重な血税である。停留所の名称、設置場所などタイムングをはずさず、PRをして村民が使いやすいように修正し、使ってもらうことがよい。

村長 いろんな意見がきている。「行きはよいよい、帰りは」などである。新庁舎問題も含め、行政サービ

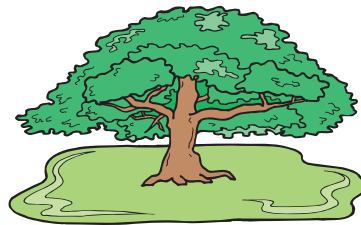
設、会計課への税金納付等手続の時間が短くなる。ローカーウンターも設置、車椅子利用時のサービス向上。

質問 新庁舎はいいだけでなく、維持管理費が激増するはず。計画的にコスト縮減を。一般質問を重ねてきた巡回バスが試行となった。

村民の望む形に近づけるため試行8日間の、村民の利用状況の説明を。

基地・財政課長 停留所は84ヶ所、名称設定は区長さんをお願いして決めた。この8日間で、新井地区の利用者は、13名、広馬場地区は2名、山子田は8名、長岡地区は1名の通算24名が利用した。

入向上のため、私も含めて意識改革に取り組みたい。



新庁舎



庁舎内部 カウンター



これからが猛威をふるうインフルエンザ



新型インフルエンザ対策

質問 8月21日に初めて村内の患者が確認され、その後の発症や回復の状況と、発症し重症化しやすい人たちへの指導等は。
健康・保険課長 村内在住の感染者は26件で、1件は全快、25件が診療機関で受診後、自宅で療養中。重症化への対応は、每户配布チラシと相談窓口で相談指導を行い、ワクチンの優先投

与の働きかけをする。

質問 これまでの対策が十分か、今後の強化対策は。

健康・保健課長 8月21日に対策本部長名で予防策の徹底と村主催で特に屋内で

開催される事業には、発熱やせきなどあり感染が心配な方の参加自粛の要請をした。9月補正でマスク、消毒液等の備蓄の追加をお願いしている。

質問 村の行事で、敬老会は中止になり、庁舎落成・村政50周年式典やしんとう村づくり祭・スポレク祭の中止を含め防疫対策は。

村長 敬老会は安全面を考慮し中止の決定をした。集団で行う50周年事業やスポレク祭・産業祭、学校の運動会もある。50周年事業をやる場合、全員のマスクとアルコール消毒を用意する。今はどれを中止して、どれを執行するか決まっていないが、村民の理解を得て決めていく。

質問 保育園・幼稚園、小学校・中学校

の防疫対策と、学級・学校閉鎖等の基準や保護者への周知方策は。

教育委員会事務局長

学級の健康観察の徹底、朝の検温、手洗い、うがいの励行、保護者宛に保健だより等で感染予防を促している。学級・学校閉鎖の基準は、季節性より厳しい基準

を設け、同一クラスで一週間にインフルエンザと診断された者が2名以上、もしくは疑いのある者が10〜15%で学級閉鎖に。南小では5・6年生の学年閉鎖に至った。幼稚園は同一基準で、園閉鎖。学童保育も同様で、保育園は幼稚園に準じた体制を指導。

延期の中学校修学旅行は、9月3〜5日に実施し、



手洗い うがい

感染者はなく無事終了。また、スポーツ少年団等の活動は、学級閉鎖になったクラス児童と同家族にも練習参加を自粛要請した。



インフルエンザ対策 手洗いして教室へ





平和な村づくり

質問 榛東村は14年前(戦後50年目)に、核兵器廃絶平和都市宣言を行っている。そのことをアピールする為の立看板や懸垂幕を掲げられないか。

村長 新庁舎建設にあたり宣言を掲げることができるかどうか指示をした。

質問 世界で唯一の被爆国民として、原爆の真実をしつかり子孫へ語り継ぐ為に中学生の修学旅行先に広島を選べないか。

教育長 2泊3日の日程では往復の移動に費やす時間が多すぎること、保護者

負担が重くなる(現在1人当たり5万4165円(京都・奈良)広島になると1人当たり7万3220円)等の事情により無理がある。

安心して医療を受けられるために

質問 本年4月より国保税が18%・介護保険料が16%引上げになった。7月末までの収納率や滞納額はどうか。

健康・保険課長 収納率は79・83%、滞納額は2549万9000円となっている。

質問 生活が大変な上に医

療費負担も重く安心して医療を受けられない。75歳以上の医療費無料化を国・県に先がけて村が実施した場合、村の負担額はどのくらいになるか。

健康・保健課長 H21年8月1日現在の後期高齢者数は1373名。一ヶ月平均の医療費が659万5000円となり一年間では7914万円。高齢化率と医療費の伸び率を勘案すると5年後が約8200万円、10年後が約9700万円となる。

質問 村負担が大きいことは判るが、東京の日の出町や、長野県の原村では75才以上の医療費を無料にしている。お金の心配をしないで受診できることから、早期発見早期治療につながり、結果的に村の医療費が少なくなつたとのこと。本村での実施について村長の考えは。

村長 民主党のマニフェストに後期高齢者医療制度の廃止がうたわれている。今後の動きを見守りたい。村独自でやれる状況ではない。

質問 7月1日付厚労省の

通知のとおり、窓口での一部負担金の減免(国保法44条減免)を村ではどう考えているか。



お金を心配しないで受診したい

群馬県全自治体 非核・平和宣言集

「核兵器廃絶平和都市宣言」についての決議

1995年(平成7年)6月23日 **榛東村**

非核三原則は、世界の平和と安全を確立する事で、人類共通の念願であります。しかるに、今尚、世界各地で武力紛争や戦争が絶え間なく続いており、しかもこれら等に用いられる兵器は益々強力化、高度化し、核軍備の拡大が進み、人類は深刻な脅威にさらされています。

わが国では、世界唯一の核被爆国として、また、平和憲法の本質からも、再び広島、長崎の惨禍を繰り返させてはなりません。

よって、本村議会は、すべての国の核兵器保持に反対すると共に、その速やかな廃絶を求め、非核三原則を堅持し、人類平和の為に努力することを誓い、核兵器廃絶平和都市の宣言を行うものである。

以上、ここに「核兵器廃絶平和都市宣言」を決議する。

▶非核・平和行政に関するアンケートへの回答

- (1) 防災無線放送にて周知
- (3) 決議結果は全て広報誌に掲載

子どもは社会からのあずかりもの



ひとり親家庭への支援を ～父子家庭にも児童扶養手当を～

質問 児童扶養手当は現行制度において、父子家庭はいかに経済的に困窮しているようにも受給されない状況である。不況や雇用不安などで男性も就労が非常に厳しくなっている。私は、母子、父子に関わらずひとり親家庭の支援をしていくことは必要だと思うが、村として児童扶養手当に相当する父子家庭への支援を独自で進めていく考えはないのか。

村長 村独自で先駆けて行うというより、国や県の問題であると考え。現在は雇用の問題等いろいろな中

において、父子家庭も母子家庭も同じという考えである。今年の10月から11月に知事との懇談会があるので、その時に町村会として全市町村の問題として取り上げていきたいと考えている。

AEDの配置は大丈夫か？

質問 AEDを使用する場合は時間が大変重要である。1分ごとに救命率が低下していく中で一分一秒でも早く行うことが必要である。現在榛東総合グラウンド周辺では管理室に1台設

置しているが、いざという時に管理室まで取りに行くのでは時間のロスがあるのではないかと。やはりグラウンドやアリーナ、プール等運動施設には設置する必要があるのではないかと。

村長 体育館などにも設置する考えで進めており、早急に備えていきたい。



AED設置

教育委員会事務局長 AEDは精密機械のため温度変化が激しい屋外等への設置は難しい。屋外運動場についてはメーカーと設置場所等を検討しながら考えていく。

質問 子どもたちの通う施設等への小児用AEDや付属パッドの設置はどうなっているか。

子育て・長寿支援課長 保健相談センターや保育園等へは設置されていない。

村長 命に関わることなので前

向きに検討していく。

質問 いざという時にはすべての人がAEDを使う、あるいは使つて助けてもらう可能性があると考え、一人でも多くの住民がAEDに関する知識を有することが重要だと思うので、職員、村民にも受講する機会

を増やしてもらいたい。

村長 私や副村長、教育長そして課長以上は全員講習を受ける考えである。また自主防災組織の中で消防による講習会も行っていく。

防災組織があっても使い方はわかるのか



自主防災組織の結成、運営は。

質問 自主防災は今年度に全区で結成できるのか。
村長 国から補正予算で地域防災も補助を受けられることになり村では今年度中に立ち上げてもらいたいと区長会にお願いしている。
質問 自主防災組織の運営方法、防災計画について。
総務課長 組織の活動を円滑に行うため役割分担を明確にし、運営ルールの規約を策定、内容は役員の構成、組織の編成、役割分担、主に日常活動に関する防災の知識の普及や啓発、危険箇所の把握や防災訓練などを、規約に入れて運営を行

なっていく。防災計画は、災害発生時に慌てずに効果的な活動を行うことで、災害時にどう活用するか具体的な計画を立てておくことが大切である。その他組織の連携など村や消防団や消防署などと十分な協議をして、適切な計画を立てるようになっている。
質問 自主防災の指導者の研修はどうするのか。

総務課長 広域消防署に願いをし、消防訓練、救急など、器具の取り扱い方法を指導していただく考えである。
質問 防災機材等の備蓄品について
総務課長 いろいろな機材等を備蓄するための倉庫、あとはバルーン式の投光器、それに伴うコードリール、救助工具、防災かまど、



防災倉庫設置

AED（自動体外式除細動器）消耗品については電池、ロープ、シート、飲料用水の袋、食器セット等を整備する考えである。
質問 老朽化した防災行政無線の整備は。
総務課長 今年度から三カ年をかけて、北関東防衛局の補助を受け整備をする計画である現在のアナログ式から電波の混信がおこ

りにくい、デジタル式の設備に更新する現在屋外子局十一局はそのまま利用して、二十局程度の屋外の子局を新に設置をして、個別受信機方式から、屋外拡声受信方式に整備を図ること、防災行政の拡充を図りたい。



防災無線



〈広域事業は村民に分かりやすく〉
渋川地区、広域市町村圏振興事業について



**負担金の増額は
 どう対応されるのか**

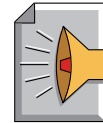
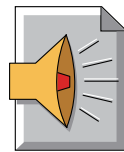
質問 広域事業負担分賦割合の均等割負担金は別表で示した通りだ。広域事業が減っているのに、なぜ負担金だけが増えているのか。
 6月定例の質問に対し、見直し理由を五事業で有ると答弁されたが、17年度以前に解決済の事業が幾つかあるが。
村長 老人休養センター城山荘事業は平成16年4月に事業廃止されているので訂正したい。

質問 その他にも期日のずれている事業も有るが、村長が見直しをするとした理事会上に、村民に対する利害はどうかという事で数値を持って会議に望んだと答弁されているが、その数値を示してほしい。
村長 今、チョット、新藤課長の所では数値が引き継ぎされていないので、それを聞きたいんでしょうが今はないと思います。
質問 調査によると、別表の様に負担金が変わる、17年度の均等割負担金は、1,037万3千円で有ったが、22年、23年度負担金額は21年度当初予算ベースで換算すると、22年度は6,480万4千円。22年度は9,307万円の負担に成る。22年度広域予算策定も近づいて居るが、適正負担に戻す解決対策は。
村長 均等割の中で消防救急事業は4%、その他の事業は6%という事で議決されたが、その条件として22年度までの早期に見直しを行う事で附帯議決もされている。実行させべく努力をしていく。



広域事務組合

質問 職員の待遇について5月28日の臨時議会で「村職員の給与に関する条例の一部改正」が否決された。人事院勧告になる職員勤務時間短縮案が示されていないから、今だそのままに成って居る事が一つの理由でも有った。当事業案質問での答弁で、来年4月施行として、100%約束は出来ないが「来年にも提案する事業を組合も了解という事」と答弁されたが、最後の答弁では、「今は考えさせていただく、来年度出すかどうか、議会にお願いする事も」と答弁されたが、答弁に整合性が無いが。来年4月より実施出来る体制、環境を整えるべきと考えるが。
村長 答弁は控えさせていただきます。



(別表) 均等割・負担金

H21. 9. 1 現

年	当初	市町村負担額	村 負担額	均等割額	備 考
17		千円 3,204,042	千円 293,928	千円 10,373	
18		3,184,337	366,342	56,017	10% 94,362千円→激変緩和措置 全事業6%
19		3,109,995	378,433	56,688	" 94,377千円→ " 消防救急4% 消防外 6%
20		2,977,551	372,510	46,762	" 94,638千円→ "
21		2,951,479	369,749	46,422	" 93,072千円→ "
22		21年度ベース換算		64,804	" 消防救急4% 消防外 10%
23		"		93,070	" 全事業10%